

○議員（5番 小島 徳重君） それは今年のうちの実現する、そういうことをぜひやっていただきたい、方式を問わず。

それから、支援員については、ここにデータがあります。先行してICT教育をやってあります町田市、これは支援員を入れた例です。4校に1人でいいんです。4校に1人は国が補助すると言っているんですから、97%の人がこれに実際に支援を受けた学校の先生方が、また望みますと言っております。効果はあるんです。

それで、やはり、先生方は忙しいというのは、先ほど申し上げた理由です。それをやはりバックアップするのが教育委員会や、あるいは市長部局の役割だと思うんです。

そして、業者、その支援を受けることは当然ですけど、やはり、もっと幅広くいろんなそういう人たちが集まった協議会をつくって、今言った方式も含めて、ぜひICT教育が推進できるように頑張っていたいただきたいということをお願いして終わります。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 小島議員、発言中はマスクの着用をよろしくお願いしておきます。

これで、小島徳重君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 昼食休憩とします。再開を午後1時ちょうどといたします。

午前11時53分休憩

午後0時58分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） こんにちは。1番議員、新政会の坂本充弘でございます。

質問に入ります前に、去る3月1日、比田勝市長におかれましては2期目の当選を果たされました。厳しい対馬の現状とは思いますが、5つの拡大戦略に基づき、市政運営に邁進していただきたいと思っております。

そして、5月1日、俵副市長が就任されました。心からお祝い申し上げますとともに、比田勝市長の2期目を支え、対馬市発展のため御活躍いただきますようお願いいたします。

また、今回、4月末をもって退任されました桐谷前副市長におかれましては、長年対馬市の職員として、また、副市長として比田勝市政の第1期を支えていただきました。長年の御労苦に敬意を表しますとともに、今後は健康に御留意され、いろいろな面で後輩への御指導をいただければと思っております。

それでは、通告に従い、質問に入らせていただきます。

1項目めは、新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策について。

2項目めは、比田勝港の整備計画について。

3項目めは、鳴滝遊歩道の再整備についてでございます。

以上の3項目についてお尋ねをいたします。

1項目めの、新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策についてでございますが、これは、先ほど小島議員のほうからも質問されましたので、少し重複するところがあるかも知れませんが、お許し願いたいと思います。

この新型コロナウイルス、正しい知識を持つことが重要です。連日の報道で御存じの方も多いと思いますが、発病初期に見られるのが発熱、せき、喉の痛み、体のだるさなどの典型的な風邪の症状であるということです。下痢や嘔吐を伴う場合や、味覚の異常がある人もあるそうです。

昨日までの長崎県の新型コロナウイルス感染者は、6月21日9時現在、17名で、4月17日以降の陽性は確認されておられません。PCR等検査実施人数は3,110人と発表されております。

感染による長崎県での緊急事態宣言は解除され、幸いにも、対馬市では現在まで感染者が確認されておられません。これは、感染予防の水際対策や、マスクの使用、手洗い、消毒などの徹底した衛生管理、3密の回避及び会合やイベント等の自粛、中止など、市民から積極的に協力をいただいていることだと思います。

このような中で、これまでうなぎ登りに増えてきていた韓国人観光客は、日韓関係の悪化により激減し、その危機的な状況から、市長も対応策を進めてきておりましたが、この新型コロナウイルス感染問題により、市内の経済は二重のショックにより極めて深刻な状況であります。再度、市民に対する負担軽減や事業者全般を見渡し、第2弾の経済対策をすべきではないかと思いますが、市長のお考えを伺います。

2項目めは、比田勝港の整備計画についてでございます。

市長は、昨年の第2回定例会開会挨拶におきまして、比田勝港を地方港湾から重要港湾への昇格を目指す旨、発言されました。現状では比田勝港単独での昇格は難しいが、厳原港との統合による昇格の選択肢はあるということでした。

対馬で韓国・釜山との定期航路があるのは、厳原港と比田勝港で、厳原港は昭和20年代に、既に重要港湾に指定されております。重要港湾は、国内外の海上輸送網の拠点であり、国の利権に重大な関係がある港湾で、整備する際にはもちろん国の負担割合が大きいということでもあります。

先ほども申し上げましたが、一昨年、対馬を訪れた韓国人観光客は約41万人に上り、比田勝港から入国したのは31万人を超えておりましたが、日韓関係の悪化、新型コロナウイルス問題

により、韓国人観光客は激減している状況です。昨年挨拶されたときと状況が違うこともあると思いますが、市長の考えをお伺いいたします。

その中で、通告をしておりました1点目の、網代地区ではいまだに木造栈橋をつくり、公有水面の申請を県に出しておられます。随分前から、護岸整備については地元地区からも要望等があったと聞いておりましたが、現在どのような状況になっているのかお尋ねいたします。

また、2点目の、古里地区の護岸整備はどうなっているのか。比田勝港は埋立てをしてきましたので、外来船が入港してきたときの係船場所が少なく困っております。ボーリング調査の予算はついていると聞いておりましたが、現在の整備計画の進捗状況についてお尋ねをいたします。

そして、3点目は、比田勝地区にありました漁協建物跡地の駐車場の舗装についてですが、現在、混乗便を利用される方の駐車場となっております。舗装していないため、風が強い日はほこりが舞い上がって、決していい状況ではありません。横のほうには舗装している駐車場や小さな公園もあり、散歩されている歩行者や家族連れも多く、付近の商店街も困っておられます。ぜひ、舗装していただくことができないかお尋ねをいたします。

3項目めは、鳴滝遊歩道の再整備についてでございます。

御承知のように、鳴滝は上地区の観光名所の一つでございます。最終整備されてどのぐらいの年月がたっているか分かりませんが、旧町時代ではないでしょうか。駐車場のところから遊歩道に向かう取付道路は整備されておりますが、その先の歩道のところをもう少し整備していただきたいと思っております。

鳴滝は、雨上がりで水量が多いときに多くの方が訪れられます。駐車場から歩いていきますと、鳥居付近まではいいのですが、足元が悪く、靴がぬれて泥や落ち葉で汚れたり、また、歩きにくいところが多々あります。階段も急なところがあり、つまずくと危険です。両脇にはチェーンが張ってありますが、経年劣化によりさびております。景観的にはいいのかも分かりませんが、つかまるところがないため、高齢の方が歩くときには心配です。落石も発生しているところがあり、今までけがをされている人がいないのが幸いです。

この辺り、鳴滝神社の境内になりますので、のり面全体の整備は難しいと思っておりますが、落石の心配があるところは、ガード等を設置するなどの安全対策をする必要があるのではないのでしょうか。

日韓関係の悪化やコロナウイルスにより、観光客も激減しておりますが、いずれ訪れる人が多くなってくると思います。観光名所でのけが人等が出ないうちに、早急に安全対策を施した鳴滝遊歩道の再整備について、整備することができないかお尋ねいたします。

以上の3項目について、市長の考えをお伺いいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 坂本議員の質問にお答えいたします。

初めに、新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策についてでございますけども、去る5月25日に緊急事態宣言が全国で解除されたことを受け、長崎県では、6月1日から県内観光を、6月19日には県外からの観光客受入れを再開したところでございます。しかしながら、第2波の懸念も大きく、医療体制の脆弱な本市については、感染防止策に万全を期すなど慎重な対応が迫られているところでもあります。

4月の臨時議会にて議決いただきました経済対策予算として、商工費及び水産業費に約3億2,000万円の予算を計上し、市独自の経済対策事業を実施しているところでございます。

坂本議員の御質問のとおり、市内の経済の状況を考慮いたし、第2弾の経済対策予算の事務作業を進めておりますが、家賃助成事業等が盛り込まれた国の第2次補正予算が6月12日に成立し、また、長崎県でも宿泊施設応援キャンペーン等が6月1日からスタートするなど、国、県ともに収束期の事業活動を開始しております。このような事業の内容を市民に周知し、十分に活用していただくことも重要だと考えております。

また、本市におきましても、新型コロナウイルス収束期に実施予定としておりました市民向けの島民クーポン券の販売を本日から開始し、当分の間は市民により消費額拡大を図り、市内事業者の下支えをしたいと考えております。

併せて観光客向けには、「しま旅」商品「行っ得！つしまクーポン券」の販売再開及び観光クーポン券の販売再開も準備しているところでございます。

また、基幹産業であります水産業におきましても、消費の低迷による出荷抑制、魚価の下落等深刻な影響を受けて、いまだに回復の兆しが見えない状況が続いております。このような中、国及び県による様々な支援策を打ち出されており、さらに国の第2次補正予算により、支援内容が追加、拡充されることから、幅広く有効活用に努めてまいります。

併せて水産業の持続可能な振興につなげるべく、先ほど小島議員への答弁の中でも申しましたが、一定の基準を設けつつ、対馬市漁業者緊急支援助成金の支援拡充に取り組んでまいりますとともに、漁協等と連携を強化しながら地元の要望に柔軟な対応が可能となる、第2弾の支援策を準備しているところでございます。

農業全体といたしましては、調査依頼した事業者から大きな影響は受けていないとの報告を受けておりますが、高収益作物の生産者に対しましては、国の高収益作物次期作支援交付金が活用できることから、この交付金を推進し、農業経営の支援を行ってまいります。

林業につきましては、林業団体が事業主体となる滞留している原木の保管費用等を支援するための、輸出原木保管等緊急支援事業と併せた支援策を講じてまいります。なお、4月27日の臨時会で御承認いただきました、森林環境譲与税活用事業である低質材の搬出支援事業や森林作業

道補修支援事業等の支援をすることで、景気対策の一助になるものと考えております。

次に、比田勝港の整備についてでございますが、比田勝港は漁業の拠点港として、また韓国との玄関口として役割は大きく、これまで港の機能強化整備を順次進めてまいりました。

お尋ねの比田勝港の全体整備計画は、国際旅客航路に対応するための関連整備といたしまして、浮き栈橋1基、国際ターミナル前の岸壁舗装整備、それと、国際定期便利用客の乗降用屋根整備、また、一般施設整備といたしましては、西泊カミレイ前岸壁の耐震強化整備、古里地区が物揚げ場整備と道路整備が計画されております。

次に、網代地区の木製栈橋につきましてでございますけれども、木製栈橋につきましては老朽化による改修要望をいただいておりますが、現在は利用頻度も少なく、今後、地区で管理していくことが困難なため、撤去することです承を得ております。

また、物揚げ場整備につきましても、利用漁船の減少や、現在の利用状況では計画困難である旨を説明し、こちらも了承を得ております。ただし、市道護岸の越波対策につきましては、地区としては護岸整備よりも防波堤整備を望んでいるために、今後、地区と協議をしてまいる所存であります。

次に、古里地区の護岸整備についてでございますけれども、当初は護岸の改修工事を検討しておりましたが、平成24年度に、比田勝港の慢性的な外来船の係留不足を解消するため、マイナス3メートル物揚げ場とアクセス道路に計画を見直し、今年度、港湾と漁港を一体的に整備する、地方創生港整備推進交付金事業で採択されたところでございます。今年度は実施設計を行い、令和3年度から本格的に工事に着手し、令和5年度の完成に向けて取り組んでまいります。

次に、3点目の、漁協の建物跡地の件でございますけれども、旧豊崎漁協の建物跡地の駐車場の舗装については、この駐車場は日頃から、商店街利用者、国際ターミナル利用者など多くの皆様に御利用いただき、常に満車に近い状態が続いていることから、利用者の皆様には御不便、御迷惑をおかけしていることと存じます。

利用者の皆様が安心・安全、快適に駐車場を利用できるよう、未舗装部分や未利用部分も含め、比田勝港周辺の駐車場の再整備は必要であると認識しておりますが、現在、限られた用地の有効利用を図るため、商業施設などの誘致の可能性や、駐車場再整備の具体策などについて、検討を重ねているところでございます。

次に、浜久須にあります鳴滝自然公園の遊歩道の落石対策と手すりの設置についてでございます。

鳴滝自然公園は、落差15メートルの対馬一の瀑布、鳴滝を中心に遊歩道が整備され、春から秋にかけての増水期には、滝の音が周囲の山々に響き渡り、その眺めは壮観でございます。また、当地は竜神伝説の地でもあり、深山幽谷の雰囲気にも包まれ、癒やしスポット、森林浴、散策コー

スとして、観光客や地域の皆様に利用されています。

当公園の遊歩道は、主に平成7年度から9年度にかけて整備され、直近の修繕状況としては、平成22年度に、遊歩道の防護柵の修繕、チェーンの取替え及び歩道土石の除去を行っております。また、平成30年度には、公園の駐車場から、車両が通行して危険な県道敷を通らず直接園内に行けるよう、50メートルほどの歩道を追加整備しております。さらに、本年度中には、駐車場内に鳴滝までの距離、所要時間を記した案内板の設置も予定しており、園内環境の充実に努めているところでございます。

しかしながら、坂本議員御指摘のとおり、平成22年度に修繕した遊歩道につきましては、修繕後10年程度が経過し、歩道への落石や雨水の浸食により、路面の劣化、防護柵のチェーンの腐食等が随所に見られ、観光客及び地域の皆様が利用する際、つまずきや転倒の危険性が高いと思われるので、遊歩道も含めて園内の安全確保と景観保全を図るため、鳴滝自然公園の再整備については計画的に実施をしております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 答弁ありがとうございます。

それではまず、1項目めの、新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策についてでございますが、近頃の新聞等の報道を見てみますと、同じ議会が開催されておりますので、予算もいろいろ議会で決められているようでございます。

クーポン券やプレミアム商品券の発行は、多くの自治体で行われていると思いますけれども、ある自治体に関しては、水道料金の免除とか学校給食の減免とかも行われているところがあるようでございます。先ほど小島議員のほうからもありましたけれども、水産業については支援をいただいているところではあります。正組合員だけに今、限った助成となっておりますので、今後、検討する余地があれば、准組合員にもそういうことができないか、また検討していただきたいと思っておりますけれども。

いろいろ、ほかの自治体のそのとおりにまねをするというわけではありませんが、市長の、今後、新しいそういう補助の在り方があれば、ちょっと紹介できないかなと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 今、坂本議員のほうから質問がございましたように、この新型コロナ対策における水産業の第1弾といたしまして、漁業者緊急支援助成金の1人5万円ですか、出しております。これにつきましては、この正組合員に限定をさせていただいておりますけれども、このことにつきましては、やはり准組合員の場合はどうしても、この漁業に携わると申しましょか、

生計を漁業に求めている方というよりも、サラリーマンとか、ちょっとレジャーに傾いた方が多いというような意見も聞いております。

そしてまた、私も先週、長崎に出張した折に、対馬の漁協の組合長さんたちと話す機会がありましたけども、組合長さんたちの意見といたしましても、やはり本当にこの漁業に携わる正組合員と申しましょうか、そういった方に対して助成をしてほしいというような意見が大半でございました。

そういう関係もありまして、第1弾は正組合員と限らせていただきましたけども、今後、第2弾といたしまして、今、準備をしているこの件につきましては、ある一定の基準を設けた中で、漁業に携わっている方というようなところに持っていきたいと思っております。このことについては、先ほども申しましたように、この対馬島内の漁協の組合長さんたちのほうも、大体そのことについては、おおむね了解していただけるみたいでございます。

それと今後は、まだまだ今、準備をしているところでございますけども、第2弾といたしましては、今、大変厳しくなっているというようなことで、手数料についての何らかの助成ができないかというようなことで、今、準備を進めているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 今、市長の答弁のほうで、新しい手数料についての検討がなされているということで、大変うれしく思っております。そのように、ぜひ実行できるように頑張っていたきたいと思っております。それでは、この緊急対策のほうについては、もうこれで終わりたいと思います。実行できるようによろしくお願いいたします。

2項目めの、比田勝港の整備についてでございますけれども、網代地区には埋立てをするときに、木製栈橋をつくっていただいて、そして、埋立てをした場所の漁船があそこにつなげられるようにしていただいたわけですが、現在、もう利用される方がいないような状況です。そして、あの通りについては、まだ個人の木造栈橋をそのままずっと造られていて、あそこの護岸整備がかなり、やっぱりできていない状況が続いているわけです。できるだけあの通りの整備についても、今後、比田勝港の中で検討をしていただきたいと思いますが、網代地区の要望もいろいろあったと思います。そこがあったと思いますけれども、防波堤のほうも何か上がっているような感じがしますので、両方とも一度にはできないとは思いますが、網代地区のその防波堤のほうにもできるかどうか、その辺いかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 坂本議員おっしゃるように、この木製栈橋は、比田勝港の埋立てをするときの補償的な関係で築造されたというふうにお聞きしております。それが今は、現在もうほとんど使われていないというようなことで、今度、撤去をする方向性だということを聞いておりま

す。

それと、網代地区の物揚げ場につきましては、以前から越波等の要望も上がってございましたけれども、前面に木製棧橋をして係船場に行っていることもあり、越波防止のパラペット等をあそこにつくるよりも、外のほうに防波堤をつくってほしいというような要望があるというようなことで、今後、地区と県と、そして市も中に入りまして、協議をしていくというふうなことを聞いております。

そういうことで、なかなかすぐにはできないかもしれませんが、網代地区の皆様の要望を県のほうに強く訴えてまいりたいというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） ありがとうございます。その計画のとおりにいきますように、またこの点もよろしく願いいたします。

2点目の、古里地区の護岸についてでございますけれども、先ほど市長の答弁では、3年から工事にかかると言われてましたので安心しております。これは5年に完成するというので、先ほどの答弁で聞きましたけれども、令和5年って、あと3年近くかかってくるわけです。その間に工事が中断することがないように、その点を計画どおりに、できるだけ御尽力をいただきたいと思っております。

この古里地区については、かなり前から、漁協のほうからも、地元地区からも要望があつていたと思います。このボーリング調査をした後に聞いておりましたけれども、やっぱり今、比田勝の沖のほうに埋立てをした関係で、かなりやっぱり員外船が減ってはきたにしても、イカ釣り船が盛漁のときには、北のほうに漁場があるときには、やっぱり入ってくるわけです。そのときに足りないせいもあって、やっぱりどうしても必要だということで、今、計画に入れていただきましたので、これも安心しております。できるだけ計画どおりにいくように頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

それから、比田勝港の駐車場の舗装についてでございますが、これは漁協の建物があったあの周辺なんですけれども、あそこに市の土地だけではなくて、県の土地も少し入っていたような記憶があるんですけれども。その県の土地も利用しなくてはいけないようになると思いますが、舗装をする場合に、県の土地があってもお願いしなくてはいけないと思いますが、これは、そういうときにはちゃんとできるようになるわけでしょうか。できますかね。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 県有地があるということ、ちょっと私も、前の道路敷の分に県有地があることは存じ上げておりましたけれども。用地のほうにあるということは、ちょっと私も分かりません。そういうことで、そのことについては、担当部長のほうに答えさせますけども。



ただ、ここの用地の活用につきましては、今現在、その商業施設などの誘致も一応進めておりますので、その可能性等を含めて総合的に判断をしながら、舗装等については進めていきたいというふうに思っております。

その県有地の活用については上対馬ですかね、担当のほうから答えさせます。

○議長（小川 廣康君） 上対馬振興部長、森山忠昭君。

○上対馬振興部長（森山 忠昭君） ただいま坂本議員から質問がありました、旧豊崎漁協の跡地の県有地があるかということですが、一部、県が所有している土地がありまして、今、昨年から県とは交換ができないか協議をいたしているところでございます。今年も5月に、振興局のほうへ参りまして、どのような手続をすればスムーズに交換ができるか、そのような打合せを行っております。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 分かりました。そのように進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

それと、2年前の第2回定例会の一般質問で、比田勝港の国際ターミナルの運用状況と今後の整備についてお尋ねした際に、市長の答弁として、PFI事業——これは民間資金構想によりまして、最適な事業手法を検討して、可能な場合は平成31年度に民間事業者の公募を開始して、その後いろいろな手続を経て、平成34年度中に供用開始をしたいと答弁をされております。

御承知のように韓国人観光客は激減して、2年前の状況とは全く違っておりますが、そのときの計画をまだ持っておられるのかどうかお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 坂本議員、もう既に御承知のように、この韓国人観光客が予測を大幅に上回って増えたために、比田勝港の国際ターミナルが手狭になっていたところでございます。そのような観点から、これを解決するために、民間活力を導入したPFIという事業を活用いたしまして、ターミナルのほうを機能増、そして改修する予定で進めておりました。

そういう中で、この韓国人観光客の激減が発生したわけでございますけども、このことによりまして、これまで興味を示しておりました民間事業者のほうも、ちょっとそのリスク等を考えられたものというふうに思いますけども。現在、ちょっとなかなか先には進んでいないというような状況でございます。

そういう状況でございますけども、今後、また韓国人の観光客が再び増えてきた場合を想定いたしまして、このターミナルの改修についてどのようにしていくかということで、再度また、組み立て直しをしてまいりたいというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 分かりました。このターミナルについては、今のところはもう韓国人観光客もないわけですから、十分これでいいんですけども。本当にあのときには、何十万人も来ていたときには、やっぱり手狭だったわけです。今後、どのようになるか、また静観していかなければならないと思いますので、そのときには市長も対応をよろしく願いいたします。

それでは、最後の、鳴滝遊歩道の再整備についてでございますが、これも一応、前向きに考えていただきたいと思います。鳴滝遊歩道も整備するときは、できるだけぬれていても何か滑りにくいような路面、そういうようなことをちょっと考えていただきたいと思います。階段が急になっておりますので、できるだけ、今頃はもう建物の中でも階段のところは手すりをつけるようになっているのが、もう常識になっておりますので。あそこも、やっぱり階段を上り下がりするときには、もう高齢者が歩くときには、やっぱり本当に、つまずいたら、もう下のほうまで落ちていきますので、本当に危険です。そのあたりも考えて、今後、整備をやっていただきたいと思います。最後に一言お願いします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 確かに、この鳴滝自然公園の遊歩道もかなり老朽化しております。ましてや階段のところ辺りは、構造的な観点から、手すりをつけるのが難しかったというようなことでチェーンに、確か、したのではなかったかなあと今、思っております。

そこら辺の構造も可能かどうかを踏まえた上で、今後、その検討をしてみたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） 分かりました。検討を始めて、今後、整備ができるようによろしく願いいたします。

以上で、今日の私の質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、坂本充弘君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。再開を2時ちょうどいたします。

午後1時42分休憩

午後1時58分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。

12番、小宮教義君。